

③ 検証授業Ⅲの指導計画及び評価計画

単元名 情景を想像しながら「やまなし」(宮沢賢治)

第8時限目

段階	学習活動・内容	時間	教師のはたらきかけ	予想される反応	指導上の留意点				
めあてを持つ	1. 前時の学習内容を想起して、本時の学習のめあてをたしかめる。 (1) 前時の学習をふりかえる。 (2) 本時のめあてをつかむ。  想像豊かに描かれたスケッチをもとに、話し合い発表学習を通して、「五月」と「十二月」の情景を対比的にとらえたいかめる。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習で描いた「五月」と「十二月」のスケッチを用意しよう。</li> <li>今日の学習のめあては何ですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケッチを机上に用意する。</li> <li>「五月」と「十二月」の情景をたしかめよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「五月」は「かわせみ」のでてくるところ、「十二月」は「やまなし」のでてくるところを描いていることを確認する。</li> <li>机間巡視しながらスケッチのでき具合を観察し、次の段階に入りやすくする。</li> </ul>				
調べる	2. 描いたスケッチをもとに、「五月」と「十二月」の情景を対比しながら発表する。 (1) 発表する。  (2) 話し合いをする。	10  20	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のスケッチを見ながら発表してみましょう。</li> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li>おおよその「五月」と「十二月」の情景ができましたが、他につけ加えたり、修正するところはありませんか。</li> <li>「光」・「色」・「音」</li> <li>「時間」・「季節」</li> <li>「水面」・「水中」・「水底」</li> <li>「2匹の子がに」・「父かに」</li> <li>「魚」・「かわせみ」・「やまなし」</li> <li>「クラムボン」・「イサド」</li> <li>「擬声語・擬態語」</li> <li>「比喻」</li> </ul> </li> <li>今まででたほかに、何かつけ加えることはありませんか。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>「五月」</th> <th>「十二月」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>日光の黄金(明)白、音なし</li> <li>昼、春</li> <li>白いかぼの花、底の白い岩</li> <li>小さい、大丈夫、心配するな</li> <li>「魚」→かわせみに食べられる</li> <li>「かわせみ」→鉄ぼうだま、魚をとる</li> <li>「クラムボン」→あめんぼ、プランクトン</li> <li>かぶかぶ、ぶるぶる</li> <li>くしゃくしゃ</li> <li>水銀のように、鉄ぼうだまのように、コンパスのように</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>月光(暗)、青、ドボン</li> <li>夜、冬</li> <li>青いほのお、丸石、水晶のつお</li> <li>大きくなり、どうだ、いいにおい</li> <li>「やまなし」→ドブ</li> <li>「やまなし」→いいにおい、ぼかぼか</li> <li>「イサド」→磯のあるところ</li> <li>サラサラ、もかもかドブ</li> <li>ラムネのびんの月光</li> <li>遠眼鏡のような</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	「五月」	「十二月」	<ul style="list-style-type: none"> <li>日光の黄金(明)白、音なし</li> <li>昼、春</li> <li>白いかぼの花、底の白い岩</li> <li>小さい、大丈夫、心配するな</li> <li>「魚」→かわせみに食べられる</li> <li>「かわせみ」→鉄ぼうだま、魚をとる</li> <li>「クラムボン」→あめんぼ、プランクトン</li> <li>かぶかぶ、ぶるぶる</li> <li>くしゃくしゃ</li> <li>水銀のように、鉄ぼうだまのように、コンパスのように</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月光(暗)、青、ドボン</li> <li>夜、冬</li> <li>青いほのお、丸石、水晶のつお</li> <li>大きくなり、どうだ、いいにおい</li> <li>「やまなし」→ドブ</li> <li>「やまなし」→いいにおい、ぼかぼか</li> <li>「イサド」→磯のあるところ</li> <li>サラサラ、もかもかドブ</li> <li>ラムネのびんの月光</li> <li>遠眼鏡のような</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あらかじめ学習の分担を決めておく。</li> <li>進行係……教師</li> <li>スケッチ係……2名</li> <li>発表者……3名</li> <li>児童の使用している用紙と同様に「五月」と「十二月」を対比して描けるようなOHPを準備しておく。</li> <li>はじめ3名の児童に発表させ、同時にスケッチ係がそれをOHPに描く。</li> <li>おおよそのスケッチができたところで、挙手、指名により、さらに情景を補足・修正させる。</li> <li>児童がわかりやすい情景とつかみにくい情景をすばやく判断し、ポイントをおさえたりあげ方をし、羅列的にならないように配慮する。</li> <li>児童のイメージにそれぞれひらきがある場合には、多くの発表を促し、葛藤場面をつくり、話し合いの中で情景をしぼり、定着させていく。</li> <li>※ 自分の描いたスケッチには、ここでは修正したり、つけ加えたりしないように指示する。</li> <li>できるだけ多くの児童に発表の機会を与えるように配慮する。</li> </ul>
「五月」	「十二月」								
<ul style="list-style-type: none"> <li>日光の黄金(明)白、音なし</li> <li>昼、春</li> <li>白いかぼの花、底の白い岩</li> <li>小さい、大丈夫、心配するな</li> <li>「魚」→かわせみに食べられる</li> <li>「かわせみ」→鉄ぼうだま、魚をとる</li> <li>「クラムボン」→あめんぼ、プランクトン</li> <li>かぶかぶ、ぶるぶる</li> <li>くしゃくしゃ</li> <li>水銀のように、鉄ぼうだまのように、コンパスのように</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月光(暗)、青、ドボン</li> <li>夜、冬</li> <li>青いほのお、丸石、水晶のつお</li> <li>大きくなり、どうだ、いいにおい</li> <li>「やまなし」→ドブ</li> <li>「やまなし」→いいにおい、ぼかぼか</li> <li>「イサド」→磯のあるところ</li> <li>サラサラ、もかもかドブ</li> <li>ラムネのびんの月光</li> <li>遠眼鏡のような</li> </ul>								
まとめる	3. 本時のまとめをする。 (1) 「五月」と「十二月」に描かれている情景をたしかめる。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>みなさんの、たくさんの発表をもとにして、「五月」と「十二月」の情景を描いてきたところ、OHPのようになったようです。OHPを見たり、今までの話し合いを参考にして、自分のスケッチを見直してみましょう。</li> <li>つけ加えるところ</li> <li>修正するところ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習でとらえた「五月」と「十二月」の情景や話し合ったことを参考にして、自分のスケッチをつけ加えたり、修正したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の情景があまり拡散しすぎないように配慮させる。</li> <li>同時に、あまりにも画一的にならないように配慮し、個々のとらえたイメージを尊重してやる。</li> </ul>				